

【取組内容①】「方法選択型探究学習『IndiviFLIS』で個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る授業実践」

教材, 学習形態, 学習ペース, 表現, 対話を  
子供に委ねる『方法選択型探究学習』

先達の取組の一部を抽出  
「子供を主語にする授業」

**IndiviFLIS (インディビフリス)**

Individual Freedom Learning Iwanuma-Sho

『IndiviFLIS』の解釈

子供を主語にする授業

**方法選択型 探求 学習**

複数の教材・形態・ペースから  
**自分に合ったものを選択する**

教材  
教科書, web検索, 動画, 図書資料

学習形態  
一人て, ペアて, 小集団て, 他者参照

**個別最適な学び**

自分で知識を獲得し, **自分なりにまとめる, 自分の言葉で表現する**

集約(個人, 共同編集)  
ノート, ノートアプリ, Jamboard

言語化  
活動中の対話, 一斉対話, 解説動画

**協働的な学び**

岩沼小学校では、子供が主語となる指導を「方法選択型探究学習」とし、これを職員・児童が馴染みを持てるよう『IndiviFLIS (インディビフリス)』と呼称している。児童にもこの学習スタイルの趣旨を説明し、イメージの共有を図った。児童はこの授業を「インディビ学習」という愛称で親しみを持っている。

「方法選択型」とは、複数の教材・学習形態・学習ペースの3つについて、自分に合うものを自己選択すること。「探求」とは、ただ調べるだけではなく、自分なりに獲得した知識を集約・整理・分析したり、それを言語化して他者に表現したりすることとしている。

**試行錯誤の連続, 賛否両論**

第1回理科「動物のからだのはたらき」  
調べ学習で45分が終わってしまう。

第2回理科「動物のからだのはたらき」  
自己決定による対話・協議がない

第3回理科「生き物のくらしと環境」  
思考の場がない。内容理解に格差がある。

第4回理科「生き物のくらしと環境」  
1人で黙々と取り組むだけの子どもが多い。

第5回理科「月の形と太陽」  
ポートフォリオがなかなかない。

第6回理科「月の形と太陽」  
付箋の数が多く、キーワード化してきた。

第7回理科「大地のつくり」  
おさえるべき内容がまとまっている。

第8回理科「大地の変化」  
ちがう教科で自分もIndivi授業できたよ。

子供たちの変化に驚く大人達

見本を提示したことによるIndiviFLIS実践の広がり

3年生理科

6年生社会・総合

6年生外国語

3年生算数

5年生国語

研究主任による授業のモデル提示を、本校同僚、教育委員会、市内教員が参観し、指導のイメージを掴んだ。現在、同僚による1人1台端末＋クラウドを活用した『IndiviFLIS』実践への挑戦が増え、実践を積み重ねている。さらなる実践を促したい。

## 【取組内容①】「知識の取得と実験による体感的学びの両方を児童に委ねる学習」

## 理科「てこ」の単元では実験も児童に委ねる

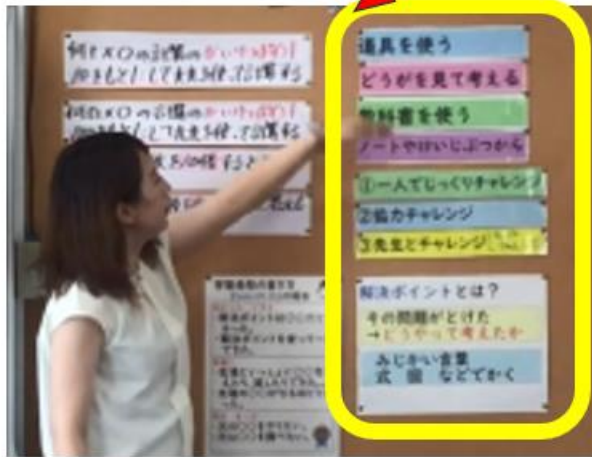


『IndiviFLIS』の学習に慣れ、学びの自走状態に入った児童は、知識取得から実験、まとめまでをすべて自分たちで行う。このスタイルにより、任意のタイミングで何度も試し、体感的理解を深めることができた。

## 【取組内容①】「学習方法・学習形態・到達目標を子供の自己決定に委ねる算数指導」

## 3年生 算数

学習の自己決定を促す掲示



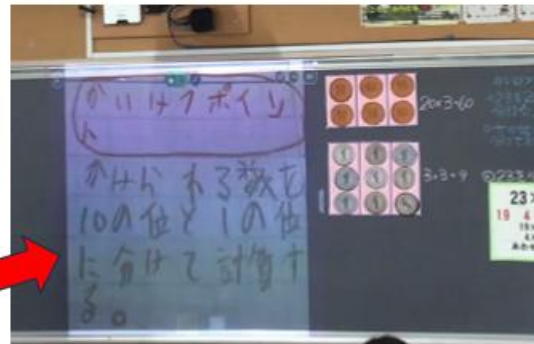
問題の解き方を見童が  
抽象・概念化して表現  
「解決ポイント」



一人で動画



チームで具体物



教科書・掲示物で

学習方法と学習形態を掲示物で示し、選択肢を可視化することで、子供の自己決定を促す。また、問題の解き方だけでなく、自分の言葉で抽象・概念化に挑戦することで、課題の取組についても習熟度に合わせた自己決定が生じ、個別最適な学びとなる。

【取組内容①】「教師不在でも、児童リーダーを中心に自分たちで『IndiviFLIS』を展開する1時間」



クラスルームで児童に指示



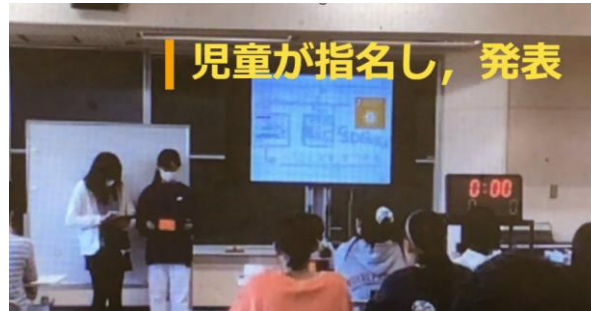
児童の合図で学習の開始



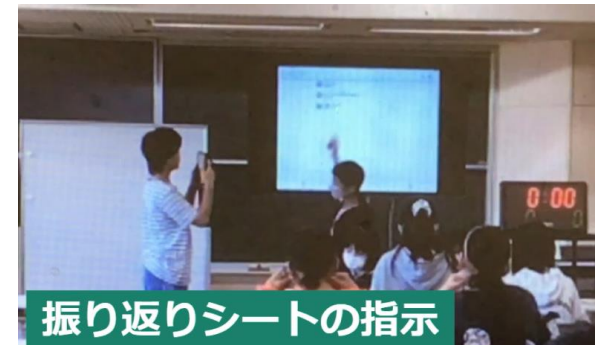
『IndiviFLIS』で学習中



児童の合図で情報交換



児童が指名し、発表

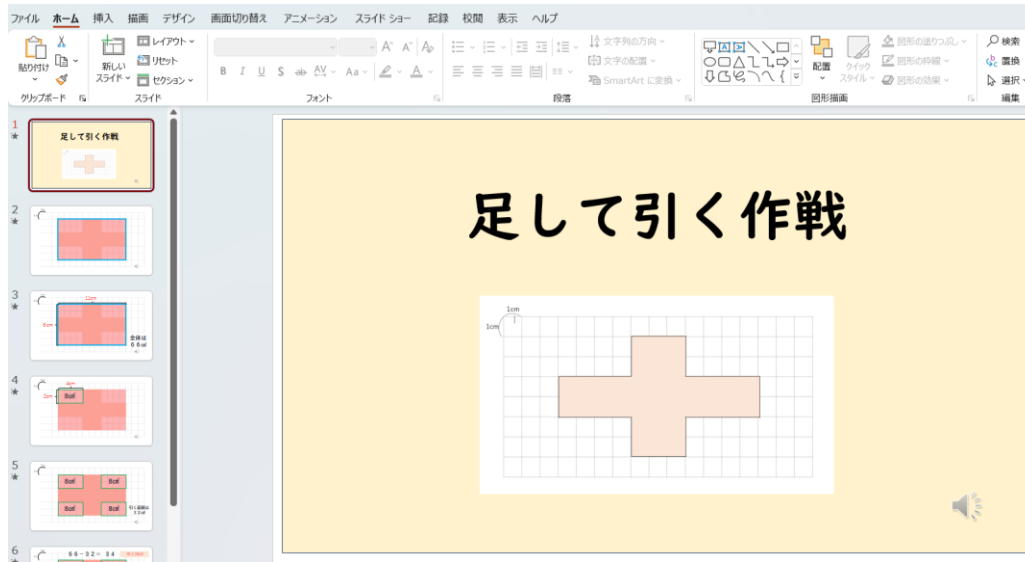


振り返りシートの指示

『IndiviFLIS』の学習に慣れ、学びの自走状態に入った児童は、教師の指示を受けることなくクラスルームに示された内容をもとに、自分たちで『IndiviFLIS』の学習を進めることができる。リーダーの子供が学びを牽引することで、充実した1時間となった。

これが可能となれば、出張等で担当教員以外が授業を担当しても、自分たちで授業を進めることが可能となる。

## 【取組内容②】「パワーポイントの音声入り発表機能を活用して、オリジナル動画教材をクラウドにアップ」



## オリジナルの動画の良さ

- ① 「完全解説」「途中まで解説」「ヒントのみ」と、教師の意図に合わせた動画を準備
- ② どこでも、何度でも見ることがができる。


インターネット上にある学習動画サイトは、非常に分かりやすい反面、子供に思考させたい場面で答えまで解説してしまうケースがよくある。しかし、Microsoftのパワーポイントを使えば、自分の意図した部分までの動画が作成でき、クラウドにアップロードすることで、子供の教材選択の幅が広がることや対話の材料、家庭での試聴と多岐に渡って活用することができる。

【取組内容③】「自由選択型家庭学習の実施に向けたオリジナル動画配信」


## 自由選択型家庭学習 (対象：高学年)

# 「岩小ホームスタディー」

ぼくは、今週算数を中心にがんばろう




水曜日は習い事があるから、その分木曜日にたくさん勉強しよう




○月○日	漢字・計算
○月○日	読書
○月○日	お休み
○月○日	タブドリ、自主学習
○月○日	計算プリント
○月○日	理科の予習


児童個々人のスタディーログ



岩小ホームスタディーのスタック表



児童を対象としたガイダンスの実施



岩小ホームスタディーの保護者用解説動画

令和5年5月21日  
岩沼市立岩沼小学校  
校長 菊池 寛子

自由選択型の取組「岩小ホームスタディー」の実施について

日に軽やかな新緑の候、保護者の皆様におかれましては、御健勝にお過ごしのことと存じます。さて、小学校学習指導要領の履修や宮城県教育委員会5つの視点の内容に鑑み、これからの時代における家庭学習の在り方について、岩沼小学校としても新たな取組、自由選択型家庭学習「岩小ホームスタディー」を行っていきたくと考えております。「岩小ホームスタディー」の具体的な内容や、取組の背景等につきましては、期間限定で配信いたします本校職員による岩小ホームスタディーの解説動画を御覧いただければと思います。解説動画は10分の内容で構成されております。この配信動画は、タブレットスマートフォン・タブレット・パソコン等の各種デバイスで御覧いただくことができます。

つきましては、6年生児童を対象に6月5日(月)～7月7日(金)までの1か月間をトライアル期間として、この「岩小ホームスタディー」を実施いたします。なお、保護者の皆様にはトライアル期間が終了してから、この取組に関するアンケート調査に御協力をお願いいたします。成果や課題等の検証を行っていきたくと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

記


動画の閲覧方法について

このお便りには岩小ホームスタディーの解説動画を視聴するためのQRコードとURLが記載されております。お手持りのデバイス(タブレットスマートフォン・パソコン)でQRコードを読み取っていただくと、動画を視聴することができます。

動画のURL

[https://www.rock-joshi.ac.jp/rock-study/](#)

解説動画のQRコード



※説明動画はダウンロード設定をしておりますが、撮影・録音、インターネットサイトへのアップロードは御遠慮ください。

岩沼市立岩沼小学校  
研究主任 北澤 直樹

保護者配布文書と動画リンク

能動的な学び手を育てる観点から、授業だけではなく、家庭学習においても決められたものでなく、自律した学びを行う必要があると考え、自分で勉強内容を決めて学ぶ「自由選択型家庭学習 岩小ホームスタディー」を7月から実施している。この取組を実施するには、保護者と児童の理解が必要不可欠である。そのため、児童にはガイダンスを実施し、保護者に対しては解説動画を作成し、クラウドにアップロードすることで、視聴してもらい趣旨説明を行った。

【取組内容③】「自由選択型家庭学習とクラウドスタック表により、メタ認知を高める。」

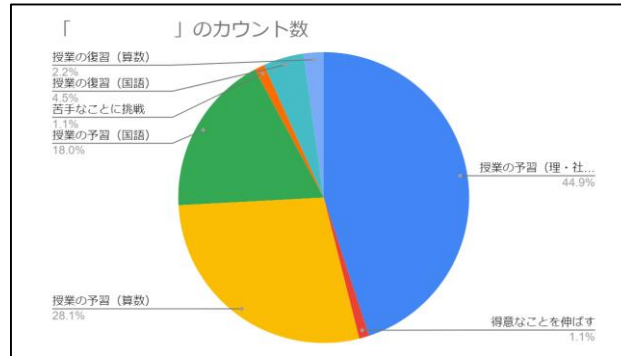
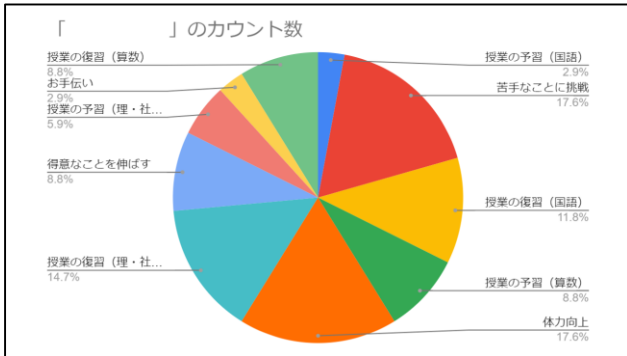
データから自分の学習タイプを認知し、それをもとに翌月に生かす

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
1	学習スタック表 バージョンII (3組)																										
2	30分家庭学習に取り組んだら、プルダウンから学んだ内容を選びましょう。																										
4		予習	こと	復習	こと	予習	力向	復習	(理)	(理)	力向	力向	こと	(理)	こと	こと	手伝	復習	復習	力向	(理)	力向	力向	復習	予習		
5		こと	こと	こと	こと	こと	復習	こと	こと	こと	予習	予習	予習	力向	力向	力向	(理)	予習	復習	手伝	力向	力向	(理)	予習			
7		こと	手伝	力向	こと	こと	手伝	こと	こと	(理)	(理)	復習	こと	復習	復習	復習	復習										
8		復習	(理)	(理)	復習	復習	(理)	力向	(理)	復習	こと	復習	(理)	力向	復習	こと	復習	復習	(理)	こと	復習	こと	(理)	力向	復習		
10		復習	復習	(理)	こと	復習	こと	こと	手伝	復習	(理)	(理)	復習	手伝	手伝	復習	復習	復習	(理)	(理)	復習	復習	予習	予習	予習		
11		(理)	(理)	(理)	(理)	(理)	こと	予習	予習	予習	(理)	(理)	(理)	予習	予習	予習	こと	予習	予習	予習	予習	予習	予習	予習	予習	(理)	予習
12		復習	こと	予習	復習	復習	(理)	(理)	予習	(理)	力向	手伝	手伝	手伝													
14		予習	(理)	復習	こと	復習	こと	(理)	復習	こと	こと	復習	こと	こと	こと	復習	復習	復習	こと	こと	こと	こと	こと	こと	こと	こと	こと
16		復習	予習	復習	手伝	復習	復習	(理)	予習	復習	復習	(理)	(理)	予習	復習	復習	こと	復習	復習	(理)	(理)	予習	(理)	こと	こと	復習	
19		力向	予習	手伝	こと	こと	復習	復習	復習	手伝	復習	予習	力向	復習	復習	手伝	復習	復習	予習	(理)	予習	復習	復習	復習	復習	復習	復習

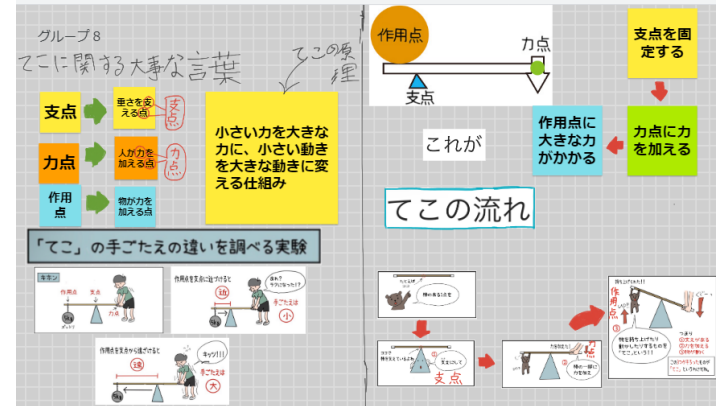
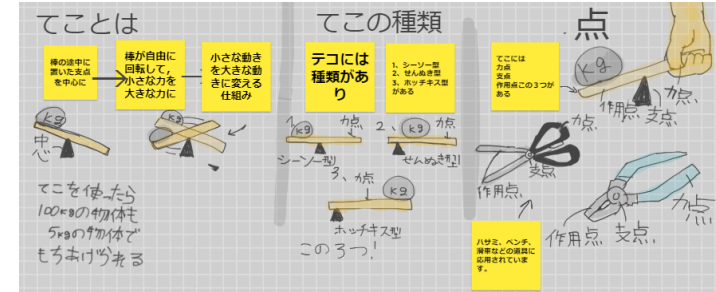
自由選択型家庭学習の「岩小ホームスタディー」では、スプレッドシートのプルダウンシートを共同編集することで、学習の記録データを取っている。

スプレッドシートはグラフ化も容易にでき、児童は月末に自分がどのように学習したのかグラフで振り返ることができる。

これにより、児童は自分がどのような学び方をしていのか客観視することができ、メタ認知の向上につながると考える。



【取組内容③】「白紙共有とGoogleMeetを活用した反転学習 ～6年理科 てこのはたらき～」



児童は理科「てこのはたらき」の学習で反転学習を実施した。授業の予習を家庭で行い、翌日の実験に臨むというものである。子供達は自宅にいながら、白紙共有ジャムボードで「てこ」についての情報集約を共同編集を行った。この取組では、あらかじめ時間を決めてGoogle Meetにつないで、対話できる時間も設定した。

直接顔を見合わせて活動することと違い、最初はやりづらさを感じていた子供たちであったが、それが逆に積極的な対話につながり、議論しながら学ぶ様子が見られた。

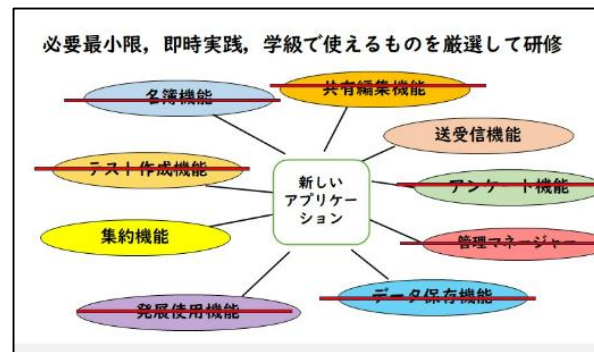
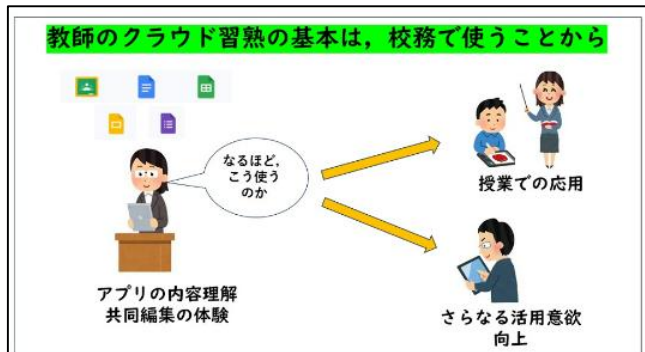


## 【取組内容④】「職員の情報活用能力を高めるショート研修『GIGA研修』」

## 3段階方式のGIGA研修

第1段階「研修×校務活用」 第2段階「研修×授業内のICT活用」

第3段階「研修×子供を主語にした授業」



GIGA研修のコンセプトは、①短時間、②必要最小限の内容、③即時実践である。校内の情報部が中心となり、打合せや職員会議中の10分から15分の間に精選した内容について学ぶ研修を行っている。

GIGA研修は順序性を持っており、第1段階が校務に関するICT研修となる。これにより職員の端末活用の習慣化やクラウドの基礎理解を図る。第2段階は教師の授業におけるICT活用、第3段階が『子供が主語となる授業』を展開するための研修となり、研修を通じた授業改善をねらいとしている。この授業改善に係る研修は、ICTが授業に及ぼす影響力の尺度「SAMRモデル」とリンクしている。アナログをデジタルに置き換える【代替】に関する研修を授業改善のスタートとし、授業観の転換【増強・変革】に関わる研修へと発展していく。

【取組内容⑤】「岩沼小学校リーディングDX特設サイトの開設」



岩沼小学校の学校ホームページ

岩沼小学校リーディングDX特設サイト

Googleサイトを活用し、本校のDXの取組について紹介するWebサイトを開設した。このサイトは5ページ構成になっており、項目毎に取組がまとめられている。県外から視察にお越しいただいた方々から、視察の前に当該サイトを閲覧いただいたことで、より焦点化した授業観察や話合いの充実につながった。

年度末までこのサイトは更新を続け、広く外部に情報発信をしていく。